

大会第1日 [5月25日(木)] 10:00~11:30 一般口頭発表

A 会場

中高緯度大気

座長 : 川野 哲也 (九大院理)

- A101 佐藤 令於奈 (福岡大院理) 冬季北半球中緯度における雲の季節内変動に関する解析
- A102 佐藤 尚毅 (学芸大) 早春における関東地方南岸での低気圧活動と降水の極大
- A103 加藤 内藏進 (岡大・教育・理科) 秋が深まった時期の台風に伴う日本列島での広域降水の特徴 (その2 : Ty1326時の特徴を盛夏期や秋雨期の事例と比較して)
- A104 川野 哲也 (九大院理) 北海道に暴風雪被害をもたらす温帯低気圧の構造変化
- A105 平沢 尚彦 (極地研) 南極氷床縁辺域における物質の鉛直輸送のメカニズム

B 会場

観測手法 I

座長 : 足立 アホロ (気象研)

- B101 宇塚 和夫 (トックベアリング) 高精度転倒ます雨量計の研究
- B102 青梨 和正 (気象研) 次世代のマイクロ波イメージャ降水リトリーバルアルゴリズム開発 (その5) : TRMM と GPM の第1 推定値の誤差 PDF の統計的比較
- B103 佐藤 晋介 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダーのデータ品質管理 ~QC フラグのリアルタイム作成~
- B104 花土 弘 (NICT) 情報通信研究機構での偏波気象レーダ開発について
- B105 足立 アホロ (気象研) 二重偏波レーダーデータの自己整合性に基づく粒径分布抽出手法の改良
- B106 菊池 博史 (阪大院工) Ku 帯広帯域二重偏波レーダによる比偏波間位相差を用いた降雨強度推定精度の評価
- B107 佐藤 英一 (気象研) 二重偏波レーダーを用いた火山噴煙の観測について

大会第1日 [5月25日(木)] 10:00~11:30 専門分科会

C 会場

気象庁データを利用した気象研究の現状と展望

趣旨説明

座長 : 坪木 和久 (名大宇地研)

- C101 *石田 純一 (気象庁数値予報) 気象庁現業数値予報システムの現状と開発計画
- C102 *米原 仁 (気象庁数値予報) 気象庁全球モデルにおける近年の開発と今後の課題
- C103 *原 旅人 (気象庁数値予報) 気象庁現業メソモデルの最近の開発とその成果
- C104 **笹川 悠 (気象研) 気象研究コンソーシアムにおける気象庁データの提供について
- C105 谷田貝 亜紀代 (弘前大理工) 極端降水評価と気象解析のための APHRODITE アルゴリズムの改良—APHRODITE-2 紹介—
- C106 大竹 秀明 (産総研) 米国における再生可能エネルギー出力予測に関する最新動向
- C107 村山 泰啓 (NICT) 「オープンサイエンス」および研究データ共有の動向

総合討論

1件あたりの持ち時間は、*は13分、**は7分、それ以外は10分

大会第1日 [5月25日(木)] 10:00~11:30 専門分科会

D 会場

気候変動影響への適応技術とその社会実装

座長：大西 領 (JAMSTEC)

- D101 田中 博春 (法政大地域研) 気候変動影響への適応技術とその社会実装について
- D102 焼野 藍子 (JAMSTEC) 高解像街区スケールシミュレーションによる熊谷スポーツ文化公園の暑熱環境解析
- D103 杉山 徹 (JAMSTEC) 産官学協働による適応策検討ー横浜みなとみらい21地区を例にー
- D104 若月 泰孝 (茨城大) 高解像 RCM 実験情報を利用した統計的ダウンスケーリング (続)
- D105 田中 博春 (法政大地域研) 気候変動適応技術の普及要因 ～北海道農業の事例からの考察

総合討論

A 会場

熱帯大気・台風

座長：服部 美紀 (JAMSTEC)

- A151 寺尾 徹 (香川大教育) 夏季チベット高気圧域等の客観解析に見られる上部対流圏不安定化
- A152 坂崎 貴俊 (ハワイ大 IPRC) 熱帯降水日変化への成層圏の役割
- A153 小野 茉莉花 (東大大気海洋研) GPM DPR データを用いた中・低緯度の降水システム特性の海陸による違いに関する統計解析
- A154 藤島 美保 (東大 AORI) TRMM 衛星データを用いた熱帯の海陸遷移領域における降雨特性の統計的解析
- A155 服部 美紀 (JAMSTEC) フィリピン海コールドサージ観測の熱帯域および南半球へのインパクト
- A156 伍 培明 (DCOP) 海陸の気温コントラストがスマトラ島上の対流日変化に対する影響
- A157 末松 環 (理学系研究科) Testing the hypothesis that the MJO of pre-YMC can be explained by the seasonal transition of SST

座長：山口 宗彦 (気象研)

- A158 松岸 修平 (東大院理) 放射対流準平衡実験における自己組織化前後の対流特徴の変化
- A159 柳瀬 亘 (東大大気海洋研) 温度・鉛直シア・惑星渦度のパラメータ空間における低気圧の理想化実験
- A160 藤原 圭太 (九大院・理) 台風と水蒸気コンベアベルトのフィードバック過程
- A161 伊藤 耕介 (琉大理) 高解像度大気モデルと結合モデルによる北西太平洋全域台風予測実験
- A162 伊藤 耕介 (琉大理) 猛烈な台風の強度に関する「波しぶき水平輸送」仮説
- A163 山口 宗彦 (気象研) コンセンサス手法による台風強度予報ガイダンスの開発
- A164 久保田 尚之 (東大大気海洋研) 雷放電及び超小型衛星を駆使したフィリピンにおける極端気象の監視・情報提供システムの開発

B 会場

観測手法 II

座長 : 川村 誠治 (NICT)

- B151 西田 圭吾 (RISH) デジタル放送波を用いた地表付近の屈折率推定
- B152 川村 誠治 (NICT) 地デジ放送波の複数の反射波を用いた水蒸気推定
- B153 久保田 匡亮 (京大) MU レーダー実時間アダプティブクラッター抑圧システムの開発
- B154 山田 芳則 (気象研) ドップラーレーダーによる複雑地形上での風解析
- B155 山本 雄平 (京大院理) 土地被覆分類を考慮したひまわり 8 号地表面温度プロダクトとその精度検証
- B156 澁谷 和樹 (明治大学大学院) TDR 法を用いた霜センサによる結霜と凍露の判別と発生環境

大気力学

座長 : 相木 秀則 (名大宇地研)

- B157 相木 秀則 (名大宇地研) 中緯度惑星波と赤道波のエネルギーフラックスの全球シームレス解析に向けて (II)
- B158 野田 彰 (気象研) データ解析における残差循環の任意性と多様性
- B159 澁谷 亮輔 (東大院理) 対流圏界面逆転層の緯度依存性及び季節変化に関する研究
- B160 桜井 誠 (筑波大生命環境) 北極温暖化増幅と傾圧不安定波の理論的關係
- B161 岡崎 正悟 (神戸大・理) 準地衡 2 層モデルにおける Nastrom-Gage スペクトルの形成メカニズムの検証
- B162 林 佑樹 (東大院理) 非定常な波強制に対する中層大気 2 次元及び 3 次元循環の形成
- B163 高木 征弘 (京産大理) 金星 GCM にみられる惑星規模の短周期擾乱
- B164 山本 勝 (九大応力研) 地形が金星大気大循環に与える影響
- B165 村橋 究理基 (北大院理) 火星大気を想定した高解像度 LES で得られた地表面応力分布

C 会場

データ同化

座長 : 川畑 拓矢 (気象研)

- C151 石橋 俊之 (気象研) 気象研究所大気海洋結合同化システム (MRI-CDA1) の数値天気予報システムとしての性質
- C152 小槻 峻司 (理研計算科学) アンサンブルデータ同化を用いた NICAM のモデルパラメータ推定
- C153 清水 慎吾 (防災科研) cloud-scale における熱力学場同化実験の降水予測精度評価
- C154 川畑 拓矢 (気象研) 二重偏波レーダーデータを用いた降雹事例に関するデータ同化実験
- C155 大塚 成徳 (理研計算科学) フェーズドアレイ気象レーダを用いた三次元降水補外予測のリアルタイム運用実験
- C156 岩本 尚大 (RISH) コヒーレント・ドップラー・ライダーと数値予報モデルによる局地的豪雨の再現実験
- C157 青梨 和正 (気象研) Neighboring Ensemble に基づく変分同化法を使った PALAU2013 事例への衛星搭載マイクロ波放射計輝度温度の同化実験
- C158 前島 康光 (理研・計算科学) 2015 年 9 月関東・東北豪雨事例における高密度地上観測のデータ同化実験

座長 : 寺崎 康児 (理研計算科学)

- C159 露木 義 (気大) 渦位反転可能原理に基づくアンサンブルカルマンフィルタ
- C160 斉藤 和雄 (気象研) アンサンブルデータ同化のための摂動手法について (2)
- C161 山崎 哲 (JAMSTEC) 南極点ゾンデ観測同化のための AFES-LETKF 同化システムの改良
- C162 寺崎 康児 (理研計算科学) 非対角な観測誤差共分散行列の Reconditioning によるデータ同化の安定性について
- C163 石橋 俊之 (気象研) 観測誤差共分散構造の診断とその利用 (3)
- C164 近藤 圭一 (理研計算科学) アンサンブルデータ同化における鉛直誤差相関の調査
- C165 レ デュック (JAMSTEC) Comparison between observation space localization and model space localization in an EnVAR system
- C166 鈴木 和良 (JAMSTEC) Single observation 実験に基づく大気陸面結合モデル内の予報誤差共分散の構造—積雪期のシベリアでの解析—

D 会場

異常気象のメカニズムと要因分析

冒頭あいさつ

座長：中村 尚（東大先端研）

- D151 *前田 修平 (気象研気候) 官学連携による異常気象分析検討会の立ち上げの経緯
- D152 *齋藤 仁美 (CPD/JMA) 異常気象分析検討会の活動について
- D153 高谷 祐平 (気象研) 2016年夏季前半の不活発な台風活動の予測と要因分析
- D154 小林 ちあき (気象研) MIMを用いた大気の全球エネルギー量変動における ENSO の影響
- D155 塩崎 公大 (京大院理) ENSO と極東域の寒暖との関係
- D156 西井 和晃 (三重大生物資源) ユーラシア大陸寒冷化と北極海での海水減少

休憩(10分)

座長：渡部 雅浩（東大大気海洋研）

- D157 土井 威志 (JAMSTEC) 海洋亜表層観測データを用いた初期値補正とインド洋ダイポールモード現象の予測精度向上について
- D158 植田 宏昭 (生命環境) アジアモンスーン域の降水・降雪・台風の年々変動
- D159 今田 由紀子 (気象研) 2016年の世界の異常高温事例の多発に関する要因分析
- D160 釜江 陽一 (筑波大生命環境) 北太平洋 atmospheric rivers 発生頻度の気候学的分布とその変動
- D161 塩竈 秀夫 (環境研) 2.0°C安定化から 1.5°C安定化への追加緩和努力によって、極端現象の将来変化をどの程度低減できるのか？
- D162 堀之内 武 (北大・地球環境) ジェット・渦位分布と降水分布
- D163 見延 庄士郎 (北大・院・理) メキシコ湾流がヨーロッパ・ブロッキングにもたらす影響

終了あいさつ

*は招待講演、1件あたりの持ち時間は、*は20分、それ以外は14分

A 会場

気候システム I

座長 : 横畑 徳太 (国環研)

- A201 横畑 徳太 (国環研) 永久凍土不可逆融解による温室効果ガス放出量の現状評価と将来予測
- A202 小畑 淳 (気象研) 巨大火山噴火寒冷化による低緯度植物生産の増加
- A203 神山 翼 (ワシントン大大気) 非線型 ENSO 温暖化抑制(NEWS)仮説
- A204 戸田 賢希 (AORI) 温暖化時の降水応答に対する循環場の寄与
- A205 川合 秀明 (気象研) 気象研究所気候モデルにおける雲表現の改善
- A206 中島 健介 (九大・理) “ウォーカー循環” 再考: 水惑星熱源応答実験からの示唆
- A207 春山 哲範 (新潟大院) 大気の極向きエネルギー輸送の評価における質量フラックス問題に関する一考察
- A208 森岡 優志 (JAMSTEC/APL) SINTEX-F2 decadal climate prediction in the southern Indian Ocean
- A209 黒田 友二 (気象研) 南半球冬季亜熱帯ジェットの維持機構

B 会場

降水システム I

座長 : 折笠 成宏 (気象研)

- B201 荒木 健太郎 (気象研) 市民科学による超高密度広域雪結晶観測 -2016年11月24日関東降雪事例 -
- B202 高橋 庸哉 (北教大) 樹枝状雪結晶に形態多様性をもたらす成長条件を解明する風洞実験 -成長時間の効果
- B203 折笠 成宏 (気象研) つくばでの地上モニタリング観測によるエアロゾル・雲核・氷晶核数濃度の変動
- B204 郭 子仙 (気象研) Study of CCN and IN abilities of Al_2O_3 and Fe_2O_3 using MRI dynamic cloud chamber and MRI IN counter
- B205 田尻 拓也 (気象研) シーディング物質の吸湿度と雲粒生成に関する実験
- B206 中井 専人 (防災科研・雪氷) レーダー・降雪粒子同時観測に基づく降雪種ごとの Zh-R
- B207 篠田 太郎 (名大宇地研) 北陸地方における走査型 Ka 帯偏波レーダを用いた降雪雲の観測
- B208 久芳 奈遠美 (AORI) 暖かい雨に対する雲物理スキーム比較実験 -衛星シミュレータを用いたバルク法とビン法の比較-
- B209 佐藤 陽祐 (理研計算科学) 全球モデルにおける第2種間接効果の精緻な表現に必要な要素 ~全球雲解像モデルと GCM の比較から~

C 会場

気象予報

座長 : 伊藤 純至 (気象研)

- C201 伊藤 純至 (気象研) 気象庁非静力学モデルの系統的なサブキロメートル水平解像度実験
- C202 牛山 朋來 (土研 ICHARM) フィリピン・パンパンガ川流域におけるアンサンブル降水予報実験
- C203 西川 雄輝 (AORI) Terrain-following 座標系における thin-wall 近似を用いた Hybrid 地形表現スキーム
- C204 佐藤 和敏 (極地研) 北極海のラジオゾンデ観測データが冬の中緯度で生じる寒波の予報精度に与える影響
- C205 加藤 亮平 (防災科研) FSS 計算における許容可能な位置ずれスケールの上限を決定する方法の提案ー局地的大雨への適用ー
- C206 栗津 妙華 (理研計算科学) 降水領域の形状特徴による降水予測の検証手法
- C207 中里 真久 (気象庁) 保存則に基づく竜巻等突風の予測指数の開発ー竜巻注意情報の精度向上の技術的基礎ー

D 会場

物質循環

座長 : 金谷 有剛 (JAMSTEC)

- D201 板橋 秀一 (電中研) 硫酸塩の大気中濃度と沈着量の発生源寄与の統合評価
- D202 甲斐 憲次 (名大環境) ゴビ砂漠におけるエアロゾルの粒子数密度と減衰後方散乱係数の関係
- D203 竹見 哲也 (京大防災研) 火山灰の大気輸送に及ぼす地形効果: 桜島噴火の事例解析
- D204 松井 仁志 (名大環境学) 粒径分布と混合状態を解像した二次元ビン法を用いた全球エアロゾルモデルの開発
- D205 大島 長 (気象研) 気象研究所地球システムモデルの開発とブラックカーボンの空間分布と放射効果の評価
- D206 金谷 有剛 (JAMSTEC) MAX-DOAS 法による大気中二酸化窒素ガスの10年観測と衛星観測評価: 衛星データを地表付近濃度に結び付け、利用を促進する
- D207 関谷 高志 (JAMSTEC) 全球化学輸送モデル CHASER による高分解能対流圏 NO₂ シミュレーション
- D208 石戸谷 重之 (産総研) 南極上空成層圏において観測された大気重力分離と周辺域の気象場との関係
- D209 塩谷 雅人 (京大生存研) オゾンゾンデの応答時間に起因する系統誤差について

A 会場

気候システムII

座長 : 釜江 陽一 (筑波大生命環境)

- A301 菅野 湧貴 (東北大院・理) 北米寒気流の年々変動と対応する総観場
- A302 上野 健一 (筑波大生命環境) インド亜大陸で日中に発生する MCS とモンスーンの季節内変動
- A303 尾瀬 智昭 (気象研) アジア大陸気温のモデル再現性バイアスおよび関連する将来変化の要因
- A304 千葉 丈太郎 (東大大気海洋研) 高解像度全球大気モデルによるアンサンブル実験を用いた予測可能性の調査
- A305 釜江 陽一 (筑波大生命環境) 大西洋を発端とした近年のグローバルモンスーン強化傾向
- A306 楠 昌司 (気象研) 格子点で解析した梅雨期の将来変化
- A307 栗原 和夫 (気象研) 日本の梅雨後半期 (7月) における温暖化時の降水量変化の地域的特徴 (地域気候モデル・アンサンブル実験による)
- A308 村田 昭彦 (気象研) 雲解像アンサンブル地域気候シミュレーションによる日本の極端な降水量の将来予測
- A309 釜堀 弘隆 (気象研) 日本における台風降水量の分布

B 会場

降水システムII

座長 : 小野村 史穂 (アルファ電子/気象研)

- B301 梶本 英伍 (東大大気海洋研) 2015年9月1日対馬海峡で突風を生じたメソ β スケール渦の発生・発達機構
- B302 森 祐貴 (東大 AORI) スーパーセルに伴う竜巻の発達・維持における地表面摩擦の効果に関する数値的研究
- B303 湯浅 惣一郎 (高知大院理) 2016年10月5日に高知で発生した竜巻親雲の構造
- B304 小野村 史穂 (アルファ電子/気象研) 庄内平野で観測された竜巻渦の地上と上空の比較
- B305 岩下 久人 (MEC) 地上稠密気象観測によるダウンバースト発生時の気圧変化と突風予測可能性
- B306 楠 研一 (気象研) 二重偏波レーダーとドップラーライダーを組合わせた非降水ガストフロント探知-アルゴリズムの概念-
- B307 益子 渉 (気象研) 地上気象データを用いた突風の統計解析
- B308 高橋 周作 (学芸大) 冬季雷雲の発達過程と雷ガンマ線の関係性について

C 会場

環境気象・大気境界層

座長：川端 康弘（気象研）

- C301 中澤 哲夫 (NIMS/KMA) ブルキナファソにおける気象変数と髄膜炎発症数との関連
- C302 藤部 文昭 (首都大・都市環境) 日本の熱中症死亡率の地域的・季節的特性
- C303 酒井 敏 (京大人環) フラクタル日除けによるクールアイランド実験
- C304 大橋 唯太 (岡山理大・生物地球) 暖候期に観測される高梁盆地の高温化
- C305 山本 哲 (気象研) 露場地面付近の気温鉛直分布観測
- C306 川端 康弘 (気象研) 都市キャノピースキームを用いた冬型事例の数値シミュレーション
- C307 稲垣 厚至 (東工大) 空撮地表面熱画像に基づく広域地表面近傍風速分布計測
- C308 高咲 良規 (立正大) 気象庁非静力学モデルを用いた台風 9119 号(リンゴ台風)の青森県に発生したおろし風
- C309 村松 貴有 (新千歳航空測候所) 2016年6月28日に函館沖津軽海峡で発生した低層波状雲の事例解析

D 会場

大気放射

座長 : 齊藤 雅典 (東北大院理)

- D301 内山 明博 (NIES) スカイラジオメーター (POM02) の特性 (衛星推定エアロゾルプロダクト検証に向けて)
- D302 内山 明博 (NIES) 改造スカイラジオメーターによる月を光源としたエアロゾル光学的厚さの推定
- D303 宇都宮 健志 (気象協会) 主成分分析による日射スペクトル変動特性の評価
- D304 関口 美保 (海洋大) エアロゾルによる雲の調整効果の地域特性について
- D305 大方 めぐみ (AORI) 衛星観測データを用いた3次元雲場の放射伝達効果に関する研究
- D306 岩渕 弘信 (東北大院理) モンテカルロ3次元放射伝達モデルによる多波長同時計算手法
- D307 齊藤 雅典 (東北大院理) CALIPSO 衛星観測から巻雲の光学・微物理特性と氷粒子形状を推定する手法の開発と検証
- D308 齊藤 雅典 (東北大院理) CALIOP-IIR 複合観測から得られた巻雲の氷粒子形状及びライダー比の地域・温度依存性
- D309 青木 輝夫 (岡山大) グリーンランド氷床の MODIS 衛星抽出積雪粒径-Terra と Aqua の違い

A 会場

気候システムⅢ

座長：内山 常雄（気象予報士会）

- A401 山本 晴彦（山口大院創成科学研究科） 帝国日本における気象観測ネットワークの構築—樺太庁—
- A402 松本 健吾（岡山大・院） 長期データからみる梅雨と盛夏期における東西日本の降水の特徴に関する気候学（長崎と東京を例にする比較解析）
- A403 吉村 香（新潟地方気象台） 北陸地方における冬の雷日数の増加傾向について
- A404 川瀬 宏明（気象研） 中部山岳域で観測された2015/16年冬季の顕著な少雪の再現実験と要因分析
- A405 谷貝 勇（元気象大） 地球温暖化が影響する日本の冷夏と暑夏について（その9）—日本列島で増大する強い積雲対流活動について—

気象教育

座長：内山 常雄（気象予報士会）

- A406 内山 常雄（気象予報士会） 高層気温推移にみる気候変動
- A407 奥村 政佳（横浜国大） SORAKIDS 構想の実現に向けて～幼児教育・防災情報統合システムへの展開～
- A408 中島 健介（九大・理） コリオリカを「体感」できる実験
- A409 関 隆則（気象予報士会） 光音響効果を用いた温室効果実験装置（その2）

B 会場

降水システムⅢ

座長 : 渡邊 俊一 (東大・大気海洋研)

- B401 渡邊 俊一 (東大・大気海洋研) 日本海寒帯気団収束帯 (JPCZ) の理想化実験:Part I JPCZ の形成と構造
- B402 荒木 健太郎 (気象研) 2016年11月24日関東降雪の発生環境場
- B403 吉崎 正憲 (地球環境科学部環境システム学科) 波動の分散関係は共振(1) ?!
- B404 二宮 洸三 (無所属) 1982年7月23-24日の九州豪雨の環境場についての観測データと再解析データの比較
- B405 玉置 雄大 (北大院理) 夏季九州における力学的ダウンスケーリングの強降水継続時間のバイアスとそれに関連する総観場
- B406 加藤 輝之 (気象研) 平成28年台風第16号にともなう宮崎県北部での大雨について
- B407 重 尚一 (京都大院・理) レーダ反射強度の鉛直構造から見た熱帯と中緯度における層状性降水過程の違い
- B408 小司 禎教 (気象研) GNSSによる水蒸気の非一様性の度合いの推定と短時間強雨の関係について
- B409 横山 千恵 (東大大気海洋研) GPM DPR 潜熱加熱スペクトル推定のための中緯度参照テーブルの作成: 気象庁 LFM データの解析

C 会場

福島第一原子力発電所からの放射性物質の拡散の実態と影響—事故後6年を経過して—

趣旨説明

座長：滝川 雅之 (JAMSTEC)

- C401 渡邊 明 (福島大・理工) 放射性物質の大気拡散に関する福島の教訓と課題
- C402 鶴田 治雄 (RESTEC) 福島原発事故直後における大気環境常時測定局のテープろ紙中の放射性核種分析データから明らかになったこと
- C403 森野 悠 (国環研) 大気モデル相互比較に基づく福島原発事故起源の¹³⁷Csの動態解析
- C404 岩崎 俊樹 (東北大学院理) 数値モデルによる移流拡散予測の相互比較実験
- C405 寺田 宏明 (原子力機構) 福島第一原子力発電所事故の放出量推定と被ばく評価における大気拡散シミュレーションの活用
- C406 関山 剛 (気象研) AMeDASおよびNTTドコモ地上風観測値のデータ同化が移流拡散シミュレーションの再現性に与える影響
- C407 眞田 幸尚 (原子力機構) 福島第一原子力発電所事故による放射性セシウムの沈着過程の推定—航空機モニタリングと大気拡散シミュレーションの比較—
- C408 新添 多聞 (原規庁) 航空機モニタリングデータを用いたセシウム¹³⁷放出の時間変動の検討
- C409 近藤 裕昭 (産総研・JWA) 観測データとモデルの不一致から推定されるさらなる発生量の補正の可能性について

総合討論

1件あたりの持ち時間は12分

D 会場

新世代静止気象衛星ひまわり8号がもたらす新しい気象学

座長 : 岩淵 弘信 (東北大院理)

- D401 村田 英彦 (JMA/MSC) ひまわり8号「トゥルーカラー再現画像」
- D402 志水 菊広 (JMA) 静止気象衛星ひまわり8号によるRGB合成画像
- D403 濱田 篤 (東大 AORI) 静止衛星高頻度観測を用いた積雲鉛直流の推定
- D404 山下 浩史 (JMANPD) 気象衛星ひまわり8号から算出される台風領域の高頻度大気追跡風の検証と気象庁現業全球数値予報システムを使ったデータ同化実験

休憩

座長 : 岡本 幸三 (気象研)

- D405 計盛 正博 (気象庁数値予報) 気象庁の現業数値予報システムでのひまわり8号晴天放射輝度温度の利用
- D406 上清 直隆 (気象研) ひまわり8号雲域観測の全球データ同化
- D407 岡本 幸三 (気象研) ひまわり8号の赤外輝度温度同化
- D408 澤田 洋平 (理研計算科学) ひまわり8号輝度温度データの同化による局地的大雨の再現性向上の試み
- D409 本田 匠 (理研計算科学) ひまわり8号輝度温度観測のデータ同化研究:平成27年9月関東・東北豪雨事例(第2報)

1件あたりの持ち時間は12分

B 会場

中層大気

座長：富川 喜弘（極地研）

- B451 久保川 陽呂鎮 (AORI) 山岳が熱帯対流圏界面近傍の気温変動に与える影響に関する研究
- B452 富川 喜弘 (極地研) 南極昭和基地におけるオゾン・水蒸気ゾンデ集中観測 (速報)
- B453 南原 優一 (東大院理) 2016年4月にPANSYレーダーで観測された対流圏から下部成層圏を貫く強い波状擾乱に関する事例解析
- B454 佐藤 薫 (東大院理) PANSYレーダー観測に基づく夏季中間圏極域の風の周波数スペクトルと鉛直プロファイルの研究
- B455 中島 駿 (東大院理) 成層圏界面ジャンプを伴う成層圏突然昇温に起因する季節間半球間結合
- B456 小新 大 (東大院理) 中間圏を含むデータ同化のパラメータ依存性
- B457 安井 良輔 (東大院理) 中間圏および下部熱圏における潮汐波に伴うシア不安定の発生

座長：原田 やよい（気象研）

- B458 木下 武也 (JAMSTEC) 渦位 flux および非断熱加熱率とバランスする3次元残差流の考察
- B459 原田 やよい (MRI) JRA-55の北半球冬季成層圏における惑星規模波動の表現性能の検証
- B460 野口 峻佑 (気象研) 再解析における衛星観測の重要性の再認識 —従来型観測限定同化版再解析における2002年9月の南半球成層圏突然昇温の再現性—
- B461 向川 均 (京大・防災研) 2007年3月に生じた成層圏惑星規模波下方伝播イベントの力学と予測可能性
- B462 加藤 諒一 (九大院・理) 2016年のQBO異常に伴う力学場と大気微量成分の変動
- B463 直江 寛明 (気象研) CCMiシナリオにおけるオゾンQBOの将来変化

C 会場

2015年と2016年の台風

趣旨説明

座長：伊藤 耕介（琉球大）

- C451 *福田 純也 (気象庁予報課) 2015年と2016年の台風について
- C452 中野 満寿男 (JAMSTEC) 2015年3月のサイクロンPamの発生について:海面水温偏差によるMJOと大規模循環場の変調
- C453 山田 洋平 (JAMSTEC) エルニーニョ終息年(1998・2016)台風シーズンのアンサンブル再現実験
- C454 足立 透 (気象研) フェーズドアレイレーダーで観測された台風第1609号に伴う境界層の気流構造
- C455 小山 亮 (気象研) T1610 (Lionrock) にみられた短時間スケールの強度変化
- C456 嶋田 宇大 (気象研) 2016年台風第18号の眼の壁雲交換に伴う構造変化プロセス

休憩

座長：中野 満寿男 (JAMSTEC)

- C457 *前田 修平 (気象研気候) 2016年8月の循環場の極端な偏差
- C458 *山田 朋人 (北海道大学) 2016年8月に北海道各地で発生した豪雨災害と気候変動の影響を考慮した治水計画の検討
- C459 筆保 弘徳 (横浜国大) 台風発生スコアを用いた2016年台風発生環境場の検出
- C460 久保田 尚之 (東大大気海洋研) 2016年8月の台風環境場と1950年8月の事例との比較
- C461 神野 拓哉 (東大理) 2016年8月のモンスーンジャイアに対する小笠原高気圧の影響
- C462 山田 広幸 (琉球大理) 2016年8月に出現した「モンスーン渦」の特徴

討論：いわゆる「モンスーン渦」について

*は招待講演、1件あたりの持ち時間は15分

D 会場

偏波レーダーを用いた観測解析技術と利用法の展開

趣旨説明

座長：前坂 剛（防災科研）

- D451 前坂 剛 (防災科研) 国土交通省 XRAIN における KDP を用いた降雨強度推定について
- D452 板戸 昌子 (気象協会) XRAIN を用いた冬期降水量推定精度向上に向けた取り組み
- D453 耿 驃 (JAMSTEC) 雨の中で観測された偏波間位相差における波長の長いノイズの自動検出
- D454 小林 隆久 (電中研) Mixed phase 観測における偏波レーダーのポテンシャル：Attenuation
- D455 若月 泰孝 (茨城大) 偏波レーダパラメータを用いた雨滴粒径分布の推定
- D456 瀨瀬 丈晴 (名大宇地研) Xバンド偏波レーダー用降水粒子判別法の夏季雷雲への適用
- D457 長屋 智大 (名大 ISEE) Ka・X・C 帯二重偏波レーダーの偏波パラメータと HYVIS による直接観測の比較
- D458 真木 雅之 (鹿児島大学) 火山噴煙の三次元レーダデータ解析ツール (ANT3D) の概要
- D459 Kim YuRa (Pukyong National University) ANALYSIS OF VOLCANIC ASH CLOUDS UNDER MOIST ENVIRONMENT USING ANT3D

休憩(10分)

座長：増田 有俊（気象協会）

- D460 増田 有俊 (気象協会) Xバンド偏波レーダによる粒子判別結果を用いた降水セルのライフステージ判別
- D461 篠田 太郎 (名大宇地研) 東海地方で観測された対流性降水域内部の霰領域と強い上昇気流域の分布
- D462 南雲 信宏 (気象研) 凍雨の二重偏波情報と力学構造の特徴—2016年1月29日の事例—
- D463 中北 英一 (京大防災研) 偏波レーダーを主としたマルチセンサーによる積乱雲の生成と発達を捉えるフィールド観測
- D464 山口 弘誠 (京大防災研) 偏波レーダーを用いたアンサンブルデータ同化による降水予測精度向上に関する研究
- D465 横田 祥 (気象研) 降水が予測されていない位置へのレーダー反射強度の同化方法の提案
- D466 梶原 佑介 (気象庁観測) 空港気象ドップラーレーダーの二重偏波化
- D467 高橋 暢宏 (ISEE) 「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) レジリエントな防災・減災機能の強化」におけるマルチパラメータフェーズドアレイ気象レーダの開発について

総合討論

1件あたりの持ち時間は11分